歴史と自然に彩られた公園 岡公園散策マップ

A Park Coloured by History and Nature

Walking Map of Oka Park



岡公園は、明治28(1895)年4月1日に設置された公園です。岡公園の名称は聖武天皇が神亀元(724)年に玉津島に行幸した時、離宮を「岡東」に作ったという故事から付けられました。

緑泥片岩と呼ばれる岩石からなる標高24.1mの独立丘陵が中央にあり、周囲を平地が取り囲んでいます。和歌山城が築城された際には、石垣に使う石材を切り出す石切丁場でした。丘陵は山上に弁財天を祀っていたので弁才天山あるいは天妃山と呼ばれ、南側の崖下には広沢池と呼ばれる池があります。岩壁には磨崖碑と呼ばれる刻んだ文字がみえます。

園内には、明治13年に旧藩主徳川茂承らが建立した四役戦亡記念碑をはじめ、多くの記念碑や灯籠が建てられており、まさに「記念碑公園」と言えます。また、貴重なC57形蒸気機関車や昭和46(1971)年まで市街地を走っていた市電が保存されています。紀州藩士大村家の長屋門や紀州徳川家の家老三浦家下屋敷跡にあった茶室・夜雨荘など歴史的建造物も移築・保存されている他、明治時代に外務大臣として活躍した陸奥宗光伯の銅像もあります。

江戸時代から現在に至る多くの記念物が点在する岡公園は、歴史や自然を感じながら散策するのに最適な場所です。

Oka Park was established in 1895. A heap of rock that's called "Ryokudeihengan" is located at the center surrounded by flatlands. At the time when Wakayama Castle was built, Oka Park was a place to get stones for the stone walls.

Many monuments and lanterns are built in the park. Steam locomotives and streetcars are also kept here. Historic buildings such as the Nagayamon gate and tea house of the Edo period have been relocated to here, and there is also a bronze statue of Mutsu Munemitsu, the Minister of Foreign Affairs of the Meiji era.

With many monuments from the Edo period to the present days, Oka Park is a perfect place to take a walk while feeling the history and nature.











主宅長屋門 陸奥宗光伯銅像

11E7원 라다 전기에 Monument of the First Sino-Japanese

磨崖碑「昇(